

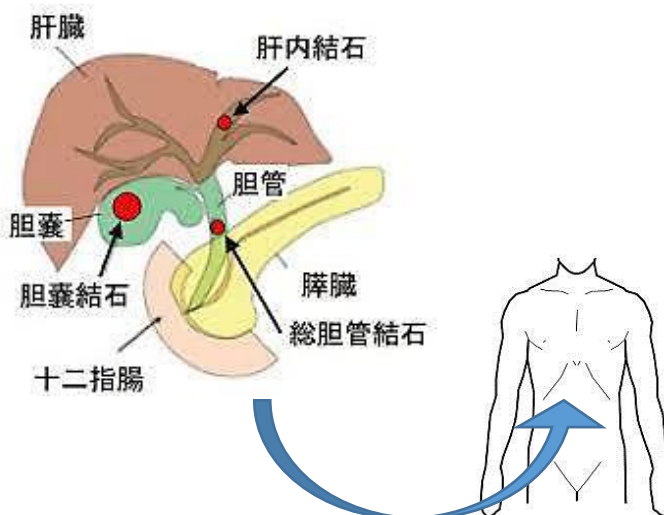
胆石症について

医療法人 小金井中央病院
外科医 田中 宏幸

(概念)

肝臓で生成された胆汁により胆道(胆汁の通り道)内に形成された結石を胆石といいます。

胆石は存在する胆道の部位により、胆嚢結石症・総胆管結石症・肝内結石症に分類されています。胆石症の中で約90%が胆嚢結石症です。



加齢とともに胆石保有率は高くなり、一般的に女性に多い傾向にあります。

(症状・診断)

症状は心窩部痛(みぞおちの痛み)や右季肋部痛(右上腹部の痛み)、右背部痛があり、胆石疝痛症状とされています。無症状の人もあります。

胆石による胆嚢炎・胆管炎という感染症が合併すると発熱や黄疸等の起こす人もいます。



痛みがない場合や、
背中が痛い場合も
あります

(診断)

診断のための検査には、採血検査やレントゲン検査、腹部超音波検査、腹部CT検査、MRI検査等があります。



(治療)

胆石の存在する部位と胆嚢炎・胆管炎という感染症の合併の有無で治療方針が異なります。

- ・胆嚢結石症では、経口溶解療法(内服薬での治療)、体外衝撃波結石破碎術、外科的治療(腹腔鏡下胆嚢摘出術、開腹胆嚢摘出術)があります。



- ・胆管結石(総胆管結石、肝内結石を含む)では、内視鏡的治療(内視鏡的乳頭切開術、内視鏡的乳頭バルーン拡張術)や外科的治療(総胆管結石採石術、肝切除術等)があります。



花粉症について

医療法人 小金井中央病院
外来師長 山崎 久江

—日本人4人に1人がかかっている国民病です—

花粉症は、スギやヒノキなどの花粉が鼻や目に入ることによって起こるアレルギー反応です。

アレルギー反応を引き起こす主な花粉には、スギやヒノキの他、ブタクサ、カモガヤ、オオアケガエリ、イネなどがあります。その他の植物を含めると約60種類になると考えられます。

◆ 花粉症のメカニズム

花粉症はスギやヒノキなどの花粉が原因となるアレルギー性の病気です。それでは、私たちの体の中で何が起きているのでしょうか。



1. 私たちの体は、“花粉”という異物（アレルゲン）が侵入するとまず、それを受け入れるかどうかを考えます。

2. 排除すると判断した場合、3. 体はこれと反応する物質をつくる仕組みをもっています。この物質を「IgE抗体」と呼びます。

4. 抗体ができた後、5. 再び花粉が体内に入ると、鼻や目の粘膜にある肥満細胞の表面にある抗体と結合します。

6. その結果、肥満細胞から化学物質（ヒスタミンなど）が分泌され。花粉をできる限り体外に放り出そうとします。

……そのため、くしゃみで吹き飛ばす、鼻水・涙で洗い流す、鼻づまりで中には入れないよう防御するなどの症状が出てくるのです。

◆ 花粉症の治療

対処療法と根治療法があります。約5～6割の人がほとんど花粉症の症状がなく暮らすことが可能です。

対症療法

- ・点眼薬、点鼻薬などによる局所療法
- ・内服薬などによる全身療法
- ・レーザーなどによる手術療法



根治療法

- ・原因抗原（花粉など）の除去と回避
- ・抗原特異的免疫療法（減感作療法）



◆ 花粉症のセルフケア

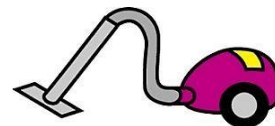
治療を季節前から予防的に行うとより効果的で、予防にはメガネやマスクなどの防御器具が有効です。



セルフケアは他にもいろいろ

花粉の多いときは窓を閉める

掃除をする



そのほかに気をつけたいこと

- ① 粘膜を傷つけるタバコは避けて下さい。
- ② 規則正しい生活やバランスのとれた食事を摂りましょう。